

日本小動物外科専門医協会平成 23 年度総会議案議事録

1. 開催内容 日時：平成 23 年 6 月 10 日（金曜日）16:30～17:15
 場所：大宮ソニックシティ4 階第 1・2 集会室
2. 議事
 - (1) 総会開催：出席 36 名、委任状送付者 12 名、合計 48 名となり総会の成立が確認された。
 - (2) 議長および議事署名人の指名：規定に従って、大橋文人会長が議長を務めることが確認された。また、議長から議事録署名人として浅野和之会員（日本大学）、南 毅生会員（南動物病院）が指名された。
 - (3) 平成 22 年度事業について
 佐々木伸雄副会長から、以下の報告が行われた。
 - ① 平成 22 年 3 月末会員数 66 名（内訳：設立専門医 65 名・専門医 1 名）であった。
 - ② 平成 22 年 6 月 26 日に大宮ソニックシティにて平成 22 年度総会開催され、平成 21 年度事業報告、平成 21 年度決算と監査報告、平成 22 年度事業計画および平成 22 年度予算が行われた。
 - ③ 平成 23 年 3 月 25 日に東京大学 VMC セミナー室にて資格審査委員会が開催され、平成 22 年度専門医制度各種報告事項および平成 23 年度専門医制度各種申請事項の審査・承認などが行われた。
 - ④ 平成 23 年度専門医試験問題の作成に際して、平成 22 年度内に全会員に試験問題の作成を依頼し、試験問題選抜を 7 名の会員で、試験問題選定を 5 名の会員で実施した。 以上の事項について、審議の結果、了承された。
 - (4) 平成 22 年度収支決算報告
 諸角元二会計担当から、平成 22 年度決算総額 4,170,000 円（繰越金 2,656,206 円）について別紙 1. の通り内容が報告され、審議の結果、報告の通り了承された。
 - (5) 平成 22 年度監査報告
 小川博之監事から、小川監事および若尾義人監事によって平成 22 年度事業および会計に関する監査が実施され、それらが適正に行われていることが確認された旨、別紙 2. の通り報告された。
 - (6) 平成 23 年度事業計画
 佐々木副会長から、以下の事業計画（一部、実施済）について説明がなされた。
 - ① 平成 23 年度 5 月 13 日～同 15 日に帝京科学大学（東京都足立区千住桜木 2 丁目）にて第 2 回日本小動物外科専門医認定試験が実施された。
 - ② 平成 23 年 5 月 15 日に第 2 回小動物外科専門医認定試験合否判定会議され、その後、理事会（メール会議）を開催し、その結果が承認された。
 - ③ 平成 23 年 6 月 10 日に大宮ソニックシティにて、第 2 回レジデントフォーラムが開催された。
 - ④ 平成 23 年 6 月 10 日に大宮ソニックシティにて、平成 23 年度総会が開催された。
 - ⑤ 平成 23 年度専門医制度各種報告事項および平成 24 年度専門医制度各種申請事項の審査・承認に関しては、平成 24 年 3 月に理事会において実施予定である。 以上の項目について、審議の結果、了承された。
 - (7) 平成 23 年度予算案
 諸角元二会計担当から、平成 23 年度予算総額 3,656,206 円について別紙 3. の通り、その内容が報告された。審議の結果、平成 23 年度予算の収入の部に、年次審査料収入（150,000 円）、研修免除審査料（30,000 円）、専門医申請審査料（30,000 円）および受験料（100,000 円）を算入し、予算総額 3,966,206 円とすることです了承された。

(8) 専門医試験問題作成について

泉澤康晴試験委員会委員長から、第2回専門医試験問題の作成に際し、試験委員会から全会員に問題作成を平成22年8月23日付および平成22年12月24日付の計2回にわたり依頼した。その結果、試験問題を提出した会員数31名（うち、昨年も提出した会員21名）、提出しなかった会員34名（うち、辞退会員8名）であった。今後、円滑な専門医試験の実施のために会員の貢献が不可欠であることが説明された。

(9) その他

- ① 大橋会長から、協会の広報（主に、ホームページ管理等）を担当する委員会の設置が提案され、その設置が了承された。同委員長として、望月 学会員（東京大学）が指名され、了承された。
- ② 大橋会長から、現在、本会の運営資金として獣医麻酔外科学会から年間1,000,000円の補助を受けているが、それでも繰越金が減少する状況であることが説明された。会長の提案通り、将来、会の運営資金として会員から会費を集めることに関する検討を理事会で開始することが了承された。

3. 報告事項

(1) 平成23年度研修プログラムおよび研修施設の認定について

丸尾幸嗣資格審査委員会委員長から、平成23年度研修プログラムおよび研修施設の認定作業について、その経緯および結果が以下の通り報告がなされた。

- ① 平成23年度当該認定作業は当初平成23年3月12日に実施する予定であったが、東日本大震災の影響で3月25日に変更されて実施された。
- ② 平成23年度新規研修参加者は2名であった。また、既認定研修参加者は、平成23年6月10日現在、平成21年度9名および平成22年度7名の計16名であり、研修を中止した者は平成21年度3名および平成22年度1名の計4名である。
- ③ 平成23年度研修免除について1名認定した。
- ④ 基幹施設の新規申請はなかった。（既認定13施設：平成21年度11施設；平成22年度2施設）
- ⑤ 関連施設の新規申請はなかった。（既認定11施設：平成21年度7施設；平成22年度4施設）
- ⑥ 平成24年度と同認定日程は、平成24年2月末日に申請書受付を締め切り、同3月中に審査を行って平成24年4月1日付で認定する予定である。

(2) 第2回専門医認定試験の実施について

泉澤試験委員会委員長から、第2回専門医認定試験の実施と合否の判定について別紙：2011年試験委員会報告の以下の通り報告された。

- ① 試験問題作成を試験委員会から全会員に問題作成を依頼し、31名の専門医から試験問題が提出された。すべての問題案を泉澤委員長および大石明広副委員長で確認後、7名の専門医に試験問題の選抜を依頼した。さらに、5名の専門医によって選抜問題から試験問題を選定した。
- ② 平成23年5月13日～15日に帝京科学大学千住キャンパス本館において第2回専門医認定試験を実施した。当試験は、試験監督として2名、試験問題対応者として1名および試験問題確認者として3名の計6名の会員および補助員1名の計7名によって実施された。
- ③ 受験者は3名であった。
- ④ 平成23年5月14日に合否の基準が確認された。
- ⑤ 平成23年6月1日に、各受験者に試験結果が通知された。
- ⑥ 第3回専門医認定試験に関する日程が示された。次回の試験実施は、平成24年5月11日～13日の予定である。

⑦ 平成 25 年度から交代する試験委員会委員長に、次回の試験実施時から引き継ぎ作業に入りたい。

(3) 第 2 回レジデントフォーラムの開催について

廉澤 剛資格審査委員会副委員長から、第 2 回レジデントフォーラムの開催に関する報告がなされた。

① 平成 23 年 6 月 10 日午前 10 時から大宮ソニックシティにて開催された。

② 本フォーラムでの発表者数は 13 名（全レジデント研修医 17 名）であり、ここで発表しないレジデント研修医 4 名は獣医麻酔外科学会に新設された「若手獣医師のためのベーシックセミナー」で講演する予定である。

③ 参加者総数 59 名、そのうち専門医は 23 名であった。

④ 今回のフォーラムでは、レジデント研修医が座長を含め、その運営を担当した。

⑤ フォーラムは一般参加可能としたが、合同学会との区分が不明瞭であった。そのため、会場費は本協会に負担する方向で獣医麻酔外科学会と相談する。また、今後の開催方法については検討する。

(4) 平成 23 年度専門医制度冊子の発行について

佐々木副会長から、7 月末までを目処に専門医制度内容の最新版を学会ホームページに公表することが報告され、冊子体としては発行されないことが報告された。

(5) その他

① 丸尾資格審査委員長から、専門医の更新制度に関して検討中であることが報告された。

② 佐々木副会長から、平成 23 年 5 月 8 日に開催された AMAMS（バンコク）の学術集会と会議の内容に関して報告がなされた。アジア獣医外科学会の創設され、佐々木副会長がその代表に就任することが報告された。次回の会議は、平成 24 年に韓国で開催する方向で検討されている。

4. その他

① 泉澤会員からの要望に対し、大橋会長および丸尾資格審査委員長から専門医研修の指導には専門医ないし特別措置として認定された手術担当分野の直接監督者が直接関与することが再確認され、間違いの無いようプログラム参加施設に通知することとなった。

② 浅野会員からの質問に対し、丸尾資格審査委員長から最長研修期間は 6 年であることの説明がなされた。

③ 奥村会員からの質問に対し、大橋会長から全専門医が研修制度に貢献できる体制について検討中であり、理事会で検討後、来年の総会に何らかの提案をする予定であることが説明された。

④ 大橋会長から、第 2 回専門医試験合格者である相川 武氏（相川動物医療センター）に専門医認定書が交付された。

（日本小動物外科専門医協会平成 23 年度総会議案に添付された資料）

別紙 1. 平成 22 年度収支決算報告

別紙 2. 平成 22 年度監査報告

別紙 3. 平成 23 年度予算案

別紙：2011 年度試験委員会報告

以上

議事録署名人：

浅野和之 

議事録署名人：

南毅生 

平成22年度収支決算

平成23年3月31日現在

収入の部

	決算額 (円)	予算額 (円)	増減(円)	摘要
前年度より繰越	2,860,000	2,860,000	0	
獣医麻酔外科学会より	1,000,000	2,000,000	-1,000,000	
年次審査料	150,000	0	150,000	10,000円×15名
研修免除審査料	30,000	0	30,000	
別枠受験資格審査料	0	0	0	
専門医申請審査料	30,000	0	30,000	
受験料	100,000	0	100,000	50,000円×2名
合計	4,170,000	4,860,000	-690,000	

支出の部

	決算額 (円)	予算額 (円)	増減(円)	摘要
活動費	600,324	0	600,324	専門医認定試験実施
会議費	41,045	120,000	-78,955	総会×1、理事会×2、委員会×3
会議旅費	405,820	1,300,000	-894,180	総会×1、理事会×2、委員会×3
謝金	340,000	350,000	-10,000	資格審査、試験問題、試験実施
印刷費	3,382	110,000	-106,618	認定証他
通信費	70,980	50,000	20,980	送料他
事務費	3,586	10,000	-6,414	
消耗品費	42,042	50,000	-7,958	レジデントトロフィー他
雑費	6,615	10,000	-3,385	振込手数料
予備費	0	2,860,000	-2,860,000	
獣医麻酔外科学会へ返却	0	0	0	
次年度へ繰越	2,656,206	0	2,656,206	
合計	4,170,000	4,860,000	-690,000	

監査報告

平成 22 年度（自 平成 22 年 4 月 1 日、至 平成 23 年 3 月 31 日）の事業および収支決算書の監査を実施しましたので下記のとおり報告します。

記

1. 事業について

日本小動物外科専門医協会定期総会において決定された事業計画が円滑かつ確実に遂行され、適切な運営がなされていることを認めます。


2. 会計について

平成 22 年度会計の収支支出台帳、各帳簿および各証拠書類の整理・管理は適正に行われていることを認めます。

以上

平成 23 年 6 月 8 日

日本小動物外科専門医協会 監事

小川 博之 

日本小動物外科専門医協会 監事

若尾 義人 
印

平成23年度予算案

平成23年6月10日現在

収入の部

	前年度決算額 (円)	今年度予算額 (円)	摘要
前年度より繰越	2,860,000	2,656,206	
獣医麻酔外科学会より	1,000,000	1,000,000	
年次審査料	150,000		
研修免除審査料	30,000		
別枠受験資格審査料	0	300,000	
専門医申請審査料	30,000		
受験料	100,000	0	
合計	4,170,000	3,956,206	

支出の部

	前年度決算額 (円)	今年度予算額 (円)	摘要
活動費	600,324	760,000	専門医認定試験実施
会議費	41,045	50,000	総会×1、理事会×2、委員会×3
会議旅費	405,820	400,000	総会×1、理事会×2、委員会×3
謝金	340,000	200,000	資格審査、試験問題、試験実施
印刷費	3,382	150,000	認定証他
通信費	70,980	80,000	送料他
事務費	3,586	10,000	
消耗品費	42,042	100,000	レジデントトロフィー他
雑費	6,615	10,000	振込手数料
予備費	0	2,196,206	
獣医麻酔外科学会へ返却	0	0	
次年度へ繰越	2,656,206	0	
合計	4,170,000	3,956,206	